

# 住民主体の居場所を育てる

～住民の力で地域を持続可能にするために～

ニーズ(困りごと)を知り、アセット(いまある強み)を活用しよう！

[開催日時] ▶▶ 2021年1月6日(水) 午前 10:00～午後 3:00

[会 場] ▶▶ **オンライン開催** ※zoomミーティングを使用します。

## ～・～・～ プログラム ～・～・～

※感染症拡大予防の観点から、オンライン開催に変更したことに伴い、一部プログラムを変更しております。

10:00～10:05 開始・本日の流れ

10:05～10:30 ◆基調講演「住民主体で多機能な居場所をつくる」  
内藤 佳津雄 さん(日本大学文理学部教授/本事業研究委員会委員長)

◆事例報告『地域特性を生かしたプラットフォーム型居場所の事例』  
10:30～12:00 ①大村 みさ子 さん(子ども村:中高生ホッとステーション 代表)  
多世代の居場所「ユニバーサルステーション」(東京都荒川区)  
②前田智希子 さん、青山ヒフミさん(毛馬コーポゆうゆう 世話人)(大阪市都島区)  
佐々木さやかさん(大阪市都島区社会福祉協議会)  
③中村 保佑 さん(東灘こどもカフェ 代表)「こもれど」(神戸市東灘区)

12:00～12:50 昼 休 憩

◆パネルディスカッション『居場所を育てるための支援とは』

パネリスト：

12:50～13:30 \*隅田 耕史 さん(NPO法人フェリスモンテ)

\*福田 めぐみ さん(荒川区社会福祉協議会)

\*巽 俊朗 さん(大阪市社会福祉協議会)

コメンテーター：内藤 佳津雄さん(日本大学文理学部教授)

ファシリテーター：平野 覚治さん(全国食支援活動協力会)

13:30～14:45 ◆グループディスカッション「いまある強みを生かして多機能な居場所を育てよう」  
講義:祐成 保志 さん(東京大学大学院人文社会系研究科准教授)

14:45～15:00 閉会のご挨拶、事務局からのお願い(アンケートへのご協力をお願い致します)

※右のQRコード、又は、主催者ホームページからもお申込みいただけます。

〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21

TEL: 03-5426-2547 E-MAIL: infomow@mow.jp

お申込み  
フォーム  
QRコード



# 住民主体の居場所を育てる

## ●開催目的

- 住民が相互に支え合う生活支援サービスの充実を、居場所を介することで加速させましょう。
- 持続的な活動とするためのノウハウを先進事例から学びましょう。
- 地域特性の違いにも着目し、新旧の住民組織等がそれぞれの得意領域を活かす連携を考えましょう。

## ●背景

- みまもり、配食、移動支援等の高齢者を主対象にした生活支援サービスの必要性はますます高まっていますが、担い手の高齢化が顕著であり、持続可能性が課題となっています。その一方で、子ども食堂等、多世代・多様な人を対象とした多機能な居場所では、新たな担い手が育っていることがわかってきました(2018年度調査より)。
- コロナ禍の影響で、高齢者にとって、人が大勢が集まる場所(交通、外食、娯楽等)のリスクが高まっています。不特定多数で集まる行事が難しくなり、お互いの素性がわかる小さな地域単位での活動の重要性は増しています。
- コロナ禍においても、多くの団体が住民主体の配食サービスやフードドライブなどの取り組みは継続していて、居場所の早期開催は地域住民から強く望まれていました。

## ●対象

- 住民組織開発に関わる全ての方  
(生活支援コーディネーター、自治体職員の方、社会福祉協議会・ボランティアセンター等の生活支援サービス提供団体を支援している組織・機関の方)

お申込み  
フォーム  
QRコード



【申込〆切:12月26日(土)】

※資料を事前に郵送する都合上、〆切までに送り先住所を添えてお申し込みください。

一般社団法人 全国食支援活動協力会

〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21  
TEL: 03-5426-2547 E-MAIL: infomow@mow.jp